

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業
・国際交流拠点形成事業)

事業名：第14回浜田こどもアンデパンダン展

事業者名：財団法人浜田市教育文化振興事業団
(浜田市世界こども美術館)

住 所： 島根県浜田市浅井町64番地14
(島根県浜田市野原町859-1)

TEL：0855-23-8451

FAX：0855-23-8452

HPアドレス：<http://hamada-kodomo.art.coocan.jp/>



連携事業者名：ラトリエ(フランス)・オルレアン美術館(フランス)・ギリシアこども美術館(ギリシア) 他

会 場：浜田市世界こども美術館

事業期間：平成22年6月1日～平成23年3月14日

1. 館の使命と本事業の関係

子どもの美術鑑賞及び創造力の育成を図り、海外との文化交流を推進するとともに、美術に関する市民の知識及び文化の振興に寄与することを使命としている。子どもたちに国内外の児童作品鑑賞の場と展覧会へ出品することのできる機会を与えることは、彼らの創造力と表現力の育成につながるものとする。また、国際交流ワークショップを実施することは、子どもたちに自己表現の場を提供するとともに、国際的な視野を身につけるチャンスにつながる。海外との文化交流を推進することのできる本事業は、館の使命を実現に導くに適した事業であった。

2. 企画内容

①事業目的

海外の児童画作品を鑑賞することで、異文化理解を促し、これからの社会を担う子どもたちに国際感覚を養うきっかけづくりを行うこと。また児童作品の魅力を強く訴えることで、日本の児童美術教育のさらなる発展を促すこと。そして海外の指導者と“美術という言葉の壁のない分野”で共に活動することで、“人”と“人”との出会いや外国との交流の大切さ、さらに、ものづくりの重要性を再認識してもらうことを目的とする。

②事業概要

《ワークショップ》と《展覧会》の2つの部門で構成した。当館と継続的に交流を続けている海外の施設(フランス・ギリシア)から指導者を招き、国際交流ワークショップを開催。当館を含め3カ国の施設の実践を比較調査し、これまでにないユニークなワークショップを創出。できあがった作品は『第14回浜田こどもアンデパンダン展』に出品し、今回の試みを紹介した。

事業終了後には、学校現場等で活用できるような「アート事例集」を制作。本事業で生まれたノウハウを記録することで、どんな場所でも継続的に使える教材として提示した。

3. 事業実績

(1) 事業の主な内容及び日程

実施時期	計画事項		
	①調査・打ち合わせ	②ワークショップ・展覧会	③記録集作成
6月8日～		出品依頼開始	
7月下旬		作品輸送開始	
10月8日～	現地調査・打ち合わせ	展覧会・ワークショップ準備	
10月29日～		ワークショップ実施 (12回・12日間)	
12月21日		展覧会印刷物発行	
1月15日		展覧会開催	
2月25日 3月11日			記録集発行 事例集発行

●ワークショップ

フランス指導者ワークショップ 平成22年10月29日(金)～11月4日(木)

6回のワークショップを開催⇒《ピカソの福笑い》《ピカソのバラバラポートレート》(2回)

《カンディンスキーの色と形》《ピカソの肖像画》

《ミロに挑戦!》

ギリシア指導者ワークショップ 平成22年11月5日(金)～11月11日(木)

6回のワークショップを開催⇒《森の声・アテネの街》《ドラゴンづくりに挑戦!》

《ギリシアのお面》《イソップ物語》《ピカソの顔》

《海底の世界》

●展覧会『第14回浜田こどもアンデパンダン展』

会期：平成23年1月15日(土)～2月20日(日)

“浜田の子どもたち”と“海外の子どもたち”が参加する無審査・無賞の児童美術展。

子どもたちの手の中から生み出された自由な創意と奔放な表現力あふれる作品386点（国際交流ワークショップで生み出された作品9点を含む）を一堂に紹介。迫力のある展覧会となった。



(2) 参加者の数

- ワークショップ参加者 520人 交流会参加者 177人
- 展覧会観覧者 大人655人 高・大9人 小・中 294人（招待者数含む）
招待・未就学児 504人

参加者人数 延べ 2,159人

内 訳： 幼児～一般

(3) 事業により作成した印刷物等

「ポスター」・「チラシ」・「国際交流ワークショップ活動の記録集」・「第14回浜田こどもアンデパンダン展 出品作品集CD」・「アート事例集」

(4) 実施事業に関する新聞記事等

○新聞記事

 <p>平成22年10月30日（土） 毎日新聞（朝刊）</p>	 <p>平成23年1月28日（金） 読売新聞（朝刊）</p>
---	--

その他、山陰中央新報 平成23年1月16日（日）

○テレビ、関連誌等

- ・いわみケーブルテレビ飛び出せ3ちゃん!! 平成22年10月28日 午後5時 3分程度
- ・NHK島根「しまねっと」平成22年10月29日 午後6時25分 3分程度
- ・いわみケーブルテレビ飛び出せ3ちゃん!! 平成22年11月2日 午後5時 3分程度
- ・いわみひゃっこるネット 平成23年1月の水曜日の定期放送
- ・日本海テレビ 昼前ニュース 平成23年1月16日 午前11時30分 2分程度
- ・NHK島根「しまねっと」（ひるまえしまねっと）平成23年1月21日～2月10日毎週木曜日アートの特集コーナー
- ・いわみケーブルテレビ飛び出せ3ちゃん!! 平成23年1月27日 午後5時39分～18分間（その後、翌日までに20回放送）
- ・読売センターいわみわいわい倶楽部 平成23年1月31日

4. 事業の成果及び今後の課題

世界の児童画と浜田の児童画を対比しながら鑑賞する機会を観覧者は非常に楽しみ、また意義深い機会として捉えているようだ。自分の気持ちを作品の中に表現することの大切さは年齢や性別に関わりなく、誰にでも共通している事柄である。その根幹の部分を「浜田こどもアンデパンダン展」と「国際交流ワークショップ」を通して感じ取っている様子が鑑賞者の声からも感じられる。（鑑賞者の感想を抜粋し掲載した）

●ブルキナの子どもたちの絵にはとても気持ちがこもっていると感じました。そして日本の子どもや世界の子どもたちのすばらしい作品に感動してしまいました。子どもたちに見せるだけで大きな情操教育になると思います！！

●世界には、いろいろな国があるんだって改めて実感しました。そこで生活している子どもたちの様子が手に取るように伝わってきました。また国際交流ワークショップすごいですね！まさにアートの祭典！？地方でこんなに素晴らしい企画ができることに感動しました。来年も絶対参加したいです。ぜひ継続してくださいね。子どもと一緒に参加します。

●海外の子どもたちの作品をみていると、絵を描く事をとても楽しんでいる純粋な気持ちが伝わってきて、とてもあたたかな気持ちになりました。

●子どもたちの作品、すばらしいです！いろいろなアイデアでいろいろな経験をしていますね。

●海外の子どもたちの作品をみることができる美術館なんてステキですね。

●フランスやギリシアの先生と私も活動してみたくなりました。浜田の子どもたちがうらやましいです。

海外の施設と当館の実践をミックスし生み出したワークショップの事例集を制作したことが1つの成果としてあげられる。今後も継続的に海外の教育機関と連携し、本事業を進めることで、この事例集をより内容の濃い、活力ある実践集として仕上げ、国内だけでなく世界的に発信していくことが必要だと感じている。

今後は一層、世界各国にアンテナを張り巡らせ、世界中のこども博物館・美術館の連携を進めるようなプロジェクトを当館が先導し、浜田の地で、国際会議や国際ワークショップを開催することを目指していきたい。小さな地方都市にて、アートの及ぼすプラスの効果を最大限に引き出すような活動が続けていくことが必要だと感じている。